

鳥羽の真珠

真珠は、真珠貝が何らかの刺激を受けたとき、自身の軟組織を守る物質を分泌することによって自然に形成されます。過去には、真珠は海女が魚介類を収穫する過程で偶然見つけるものでした。1893 年、地元出身の御木本幸吉(1858-1954) は、鳥羽で世界初の真珠の養殖事業を起こしました。鳥羽の険しい海岸線にできた数多くの入り江は、今日、いかだに係留したかごの中で養殖される真珠貝にとって理想的なすみかです。鳥羽湾と近隣の海域の水上に整然と並ぶいかだは、伊勢志摩地域特有の風景です。鳥羽湾岸のすぐ近くに浮かぶミキモト真珠島は、真珠養殖の歴史と手順についての詳しい解説に加え、伝統的な姿で働く本物の海女さんを見る機会を提供しています。